

教育委員意見交換会

日時 令和6年7月18日(木) 午前10時15分～午後0時45分

場所 堺市役所 高層館20階 第1特別会議室

出席者 関百合子教育長 河盛幹雄委員 宮本功委員 新谷奈津子委員 長田翼委員

(事務局) 櫻田浩樹教育次長 富岡重幸教育監

伊藤修士教委総務部長 西尾朋章教委総務課長 橋本宏司学校改革推進室長

森浦稔教職員人事部長 宇野敬子教職員企画課長 高山宗寛教職員人事課長

渡健耕太学校教育部長 永木里恵学校教育部部理事 江川玲子生徒指導課長

峯耕一郎学校管理部長 熊田典子学校給食課参事

南健次中央図書館長 松好由実中央図書館総務課長

井村美穂教育センター所長 品川隆一能力開発課長

居谷達矢教育政策課長 森本恭明教育政策課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・令和7年度堺市立学校任期付管理職(校長)の公募について
- ・堺市学校給食センター条例の制定について
- ・堺市立学校職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について
- ・8月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について
- ・堺市子ども読書活動推進計画の改定について
- ・令和6年度大阪府小学生すくすくウォッチの結果速報について
- ・不登校児童生徒の個々のニーズに応じた「居場所」について
- ・新たな学校マネジメントモデル事業の検証等について
- ・第1回総合教育会議について
- ・その他非公開案件1件あり

・令和7年度堺市立学校任期付管理職(校長)の公募について

小・中学校の校長人材を令和7年度堺市立学校任期付管理職(校長)として公募するにあたり、募集内容や受験資格、募集方法、今後のスケジュール等を説明。

(主な意見)

- ・合格者の研修制度について、特に民間から校長となる者には、事前に副校長として任用する現場研修を必須とするべきではないか。
→前職の引継ぎ等の関係で現場研修の受講が難しい場合もあるが、可能な限り受講を推奨したい。またその他に必要な研修も実施する。
- ・優秀な人材を確保できるよう、募集や選考方法等について、さらに工夫できないか。
→人材確保に向けた広報のあり方等について、意見をふまえて今後も検討する。

・堺市学校給食センター条例の制定について

令和7年6月から全員喫食制中学校給食を開始するにあたり、学校給食センターを設置する必要があることから、令和6年第3回市議会(定例会)に設置条例を提案することについて説明。

(主な意見)

・特になし

・堺市立学校職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について

堺市立学校職員の特別休暇のうち、子の看護について、感染症に伴う学級閉鎖時や入学式・卒業式に出席する場合を新たに対象とする内容の規則改正を行うことを説明。

(主な意見)

- ・これまでも市立学校に通う子どもがいる教員に対して、入学式や卒業式に出席しやすいように、担当する学年に配慮する等、校内配置上の配慮は行われているか。
- 各学校における教員の人事配置について、可能な範囲で一定の配慮がされていると認識している。
- ・体育大会や参観日等、全ての行事は難しいと思うが、自分の子どもの行事になるべく参加できるような勤務環境であってほしい。

・8月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について

令和6年度堺市一般会計予算におけるインフレスライド等への対応や、次年度以降の契約準備に向けた債務負担行為について、第3回市議会に補正予算案を提案することを説明。

(主な意見)

- ・債務負担行為予算の増額補正として、「令和7年度堺市立学校園産業廃棄物(廃プラスチック類等)収集運搬業務における年間予定数量の増加」とあるが、要因は何か。
- 当初予算要求時に一定数量を見込んでいたが、当初の見込を上回る予定数量が現時点では想定されるため、増額要求を行うものである。産業廃棄物の増加について、何か特段大きな要因があったというわけではない。

・堺市子ども読書活動推進計画の改定について

令和6年度中に改定を予定している「堺市子ども読書活動推進計画」について、庁内委員会、懇話会での意見や今後の方向性等、これまでの経過を報告。

(主な意見)

- ・新たな目標や指標の設定にあたり、例えば、現行の計画にある「読書情報の発信回数」のように、取組自体を目標にするのではなく、取組によって得られる効果までを目標としてほしい。また、消極的ではなく前向きな目標の設定や、デジタルコンテンツの積極的な活用も検討してほしい。
- ・今の子どもたちに対する情報発信の効果を評価するには、時代を捉えた SNS での発信も必要である。
- 目標設定や骨子案の作成等にあたり、意見をふまえて検討する。

・令和6年度大阪府小学生すくすくウォッチの結果速報について

令和6年度大阪府小学生すくすくウォッチの結果について速報値を報告。今後、詳細な分析を行い、分析結果に基づく対策等について研修会を通じて学校へ伝える旨を説明。

(主な意見)

- ・子どもに対する個人票の返却時期について、夏休みに入る前に返却できるようスケジュールを早めることはできないか。
- 事務的な部分に時間を要するものと思われるが、大阪府と協議し要望する。

- ・単に点数だけで評価するのではなく、解答の傾向を捉え、教員が子どもたちに対して、どのように解けばよいかをしっかりと解説できるようにすることが大切である。
- 今回の調査結果をもとに、教育委員会事務局が学校に対して実施する研修会でも、どのように授業改善に繋げることが重要かという部分を丁寧に伝える。

・不登校児童生徒の個々のニーズに応じた「居場所」について

増加傾向にある本市の不登校児童生徒の現状から、個々のニーズに応じた「居場所」の必要性や不登校支援について説明。

(主な意見)

- ・他市の事例なども参考にしながら、不登校児童生徒に対する居場所の検討や支援を進めてほしい。

・新たな学校マネジメントモデル事業の検証等について

新たな学校マネジメントモデル事業について、令和5年度のモデル事業の振り返り(案)を報告。

(主な意見)

- ・教育委員会からモデル学校群に対する支援として、指導主事によるサポート以外にどのようなものがあったか。
- 教員の加配や予算の配当を行ったケースがあった。
- 今後、全市展開をするにあたっては、モデル学校群では様々な取組が行われているため、全ての学校で、学校群の取組を円滑に進められるよう情報発信を行うことで学校をサポートする取組も進める。

・第1回総合教育会議について

令和6年度第1回総合教育会議について、概要等を説明。